

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23023
事業名	少年団体活動促進費					
評価担当課	所 属	子)子ども育成 子どもの権利推			電話番号	011-211-2942
施策名	多様性が尊重された環境の下で、子どもは、自分の特性や興味に応					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	子どもは、時代の変化によって習い事や塾などが普及し、多様で高度な教育を受けている一方で、集団での活動から個人の活動へと変化する中で、社会性を養う機会の減少が指摘されている。このような中、少年団体活動は、異なる年齢により構成される集団で様々な体験活動を行うため、社会で求められるコミュニケーション能力や主体性・協調性等を育むことができる場として、その重要性が増しており、子ども会等少年団体の円滑な活動を推進し、活発化を図ってきた。
	事業内容(何を実施し)	様々な体験活動を通して、子どもの自主的な社会参加、連帯意識の向上を促し、青少年活動を担う人材を育成しながら、子ども会等少年団体の円滑な活動と活発化を図る。 ①ジュニアリーダー養成研修・地域企業等との連携事業の実施 ②少年団体等の活動の場である事業用地(青少年キャンプ場;厚別区・豊平区・手稲区)の管理運営 ③少年団体の加入促進支援 ④公益社団法人札幌市子ども会育成連合会(以下、札子連)への事業補助金交付 令和5年度においてもジュニアリーダー養成研修や子どもの健全育成事業を実施した。各研修は合計174回実施し、受講者は延べ5, 480名であった。市内小学校、児童会館・ミニ児童会館に配布される「エコチル」に各団体の広報記事を掲載した。各青少年キャンプ場の利用者は合計1, 287名であった。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	次世代の青少年活動を担う人材を育成し、少年団体の円滑な活動と活性化を図る。
	他都市の状況	他都市においても類似の事業は行っているが、その事業形態や事業内容が大きく異なる。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	113,109 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	106,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.95 人工
令和5年度決算額	100,468 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.95 人工
令和6年度予算額	106,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.95 人工

指標	アウトプット活動指標1	少年団体加入者数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		20,128名					
	↓						
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	引き続き少年団体の加入を促進する広報活動を推進する。(令和4年度までの活動指標)					
	アウトプット活動指標2	ジュニアリーダー養成研修及び健全育成事業の参加者数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			6,930名	5,480名	7,000名	7,000名	7,000名
	↓						
	アウトカム成果指標2	研修において学びや発見を得たと回答した参加者の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			90%	95%	90%	90%	90%
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	子どもの生活環境の変化などに対応できるよう、事業の周知方法や研修内容の見直しを図り、多くの子どもたちに体験の機会を提供する。(令和5年度以降の評価指標)					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	本事業をもって、子どもたちの成長に寄与する様々な体験の機会や異年齢交流の場を引き続き提供する。